

先月後半からの花冷えにより、今年の埼玉での桜の開花は3月31日と、昨年より2週間遅く、また本校開校以来最も遅くなりました。そのお陰で、今年初めて桜の花咲く中での入学式となりました。あいにく晴天とは言えませんが、肌寒いながらも雨も上がり、屋外での写真撮影もできたようで何よりです。

本校にとって第2回から昨年の第5回入学式までは、いわゆるコロナ禍にあって、思うような華やかさを添えることが難しい状況でした。今年もまだ、多くの御来賓の御招待は控えることといたしました。そのコロナの感染状況も、それに伴う社会活動の自粛も徐々に収まりを見せ、本日こうして、さいたま市教育委員会 竹居秀子教育長を御来賓にお迎えし、本校にとって記念すべき第6回入学式を挙げる運びとなりました。

ここで「記念すべき」というのは、皆さんの入学を以て本日初めて、本校は1年生から6年生まで揃うことになったためです。今この時こそ、モイス完成の瞬間です

式辞

ただいま入学を許可しました160名の皆さん、御入学おめでとうございます。

今日から皆さんは、県内唯一の公立中等教育学校であり、また関東唯一の公立MYP認定校である本校で、さいたま市の教育方針である3つのG、Grit、Growth、Globalを校訓として、これまでにないような様々な形で探究的な学びを深めていきます。皆さんはここで「世界の未来のつくり方」を学ぶこととなります。これから皆さんには、「真の学力」「未来の学力」を身につけていってもらいます。それは、自分自身がより良く生きるための学力であり、より良い世界を築くことができる学力です。

皆さんが進んで行く道は、未来に向かう道です。その未来は、皆さん自身の未来でもあります。さいたま市の未来でもあり、日本の未来でもあり、そして世界の未来なのです。自分の未来を予測することさえ難しいのに、世界の未来をつくるなんて、無理なんじゃないか。皆さんはそう思うかも知れません。確かに、明日のことは予測できても、10年後の未来は予測できません。でも、予測できないからと何も考えずに過ごしていると、自分では望まない未来に世界は進んで行ってしまいかも知れません。

では、より良い未来にするための答えはどこにあるのか。正しい答えは「まだ」「どこにも」ありません。その答えを探して、見つけるのは皆さんです。もし見つからなければ、皆さんがその答えを作らなければなりません。そんな大それたこと、自分にはできないわけではない。そんな大変なこと、誰か他の人にやって欲しい。皆さんはそう思うかも知れません。でも、そう思う先に待ち受けているのは、皆さんが望まない未来なのです。

自分の、自分たちの、自分の愛する人たちの未来をあきらめないこと、人任せにしないこと。そして、そのためには自分に何ができるのか、何をすべきなのか。今日からの6年間で一緒に考えて、励まし合って、見つけていきましょう。そのためにまず、志を高く持ちましょう。そして、その志を実現するために必要な力を、ここ大宮国際中等教育学校で身につけていきましょう。

そのための本校での学びは、必ずしも楽しいことばかりではありません。各教科で、様々な課題が皆さんに与えられます。それは簡単にクリアできるものとは限りません。本校への入学を果たすことができた皆さんは、小学校での学習や生活において、これまで余り困ったことや苦しんだことが無いかも知れません。むしろ、余裕を持って好成绩を取ってきた人が多いのではないのでしょうか。

けれども、本校ではそれは簡単なことではありません。必ず何かしら困難にぶつかることでしょう。時には乗り越えられないと感じるかも知れません。しかし、その困難を乗り越えた先には、今よりもっと成長した皆さんの姿が必ずあります。それを目指して、折れないしなやかな心を身に付けながら、くじけず、いやにならず、あきらめないうで、互いに励まし合っていきましょう。

保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございませす。ほっと一息つかれたことと存じます。保護者の皆様は、他校では得難いお子様の成長を期待されて、本校を進学先を選んでいただいたものと存じます。お子様は、これまでには無かったような困難にぶつかり、つまずき、乗り越えながら成長していきませす。

保護者の皆様には、お子様がつまずかないようにと先回りして手を伸ばすのではなく、つまずいたところから立ち上がっていかうとする時に、温かい励ましやアドバイスをお願いできればと存じます。私たち教職員一同、愛情を込め、かつ厳しさを持って、お子様の成長に全力を尽くしてまいりませす。本校の取組に対する保護者の皆様の深い御理解と、温かい御協力を、何卒お願い申し上げます。

結びに、6年後の皆さん全員の大いなる成長と、その先の未来への飛躍を祈念いたしまして、さいたま市立大宮国際中等教育学校第6回入学式の式辞といたしましませす。

2024年4月5日

さいたま市立大宮国際中等教育学校長 関田 晃